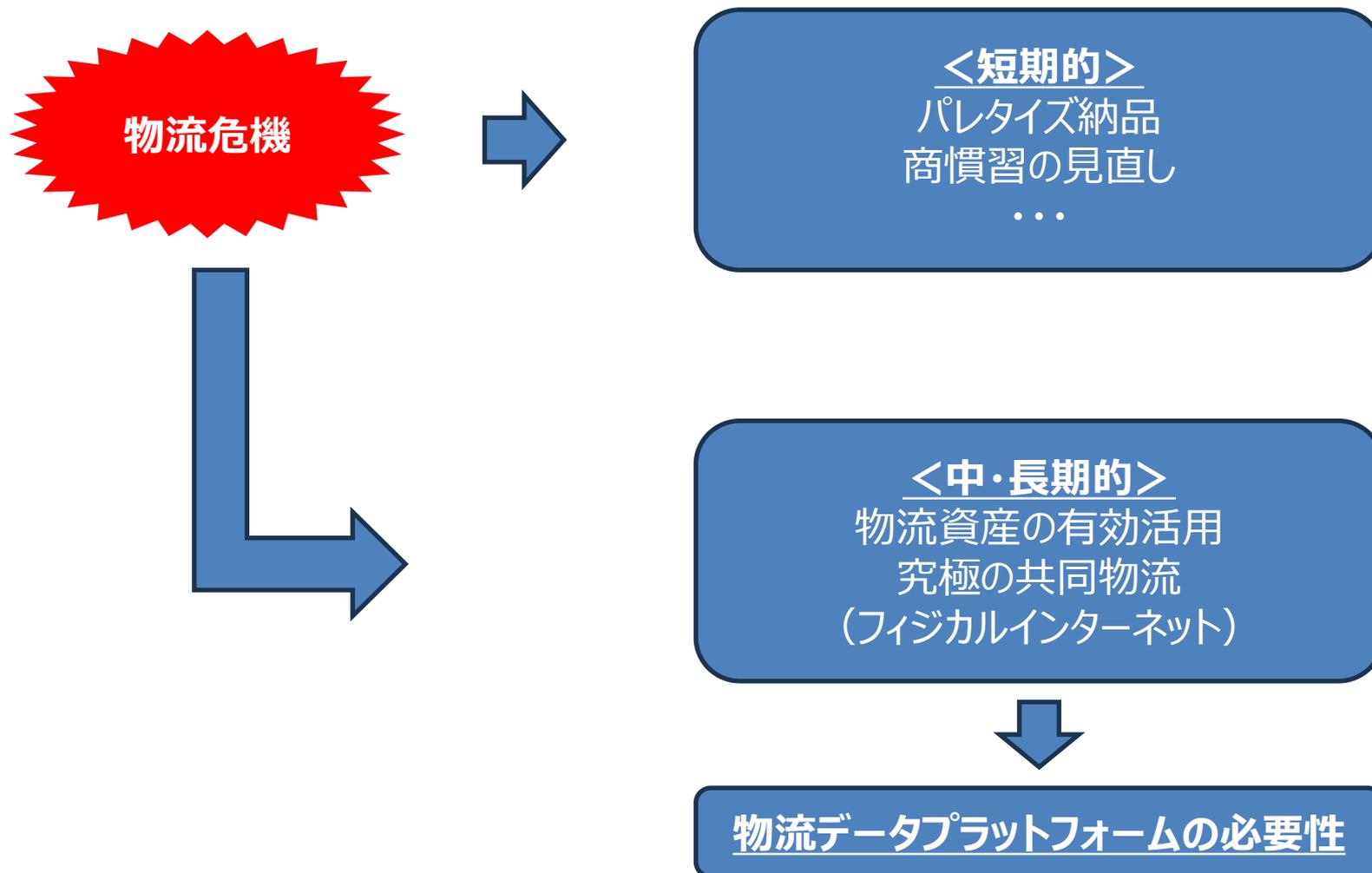


**加工食品物流における
データプラットフォーム構築に向けた
取り組みについて**

2024年10月1日（火）
公益財団法人 流通経済研究所

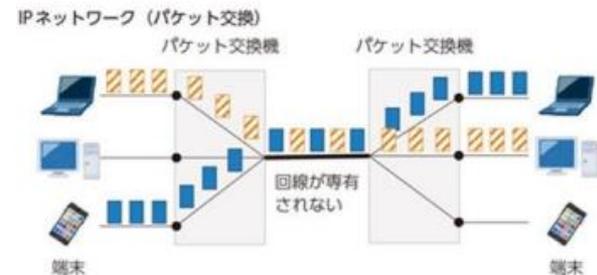
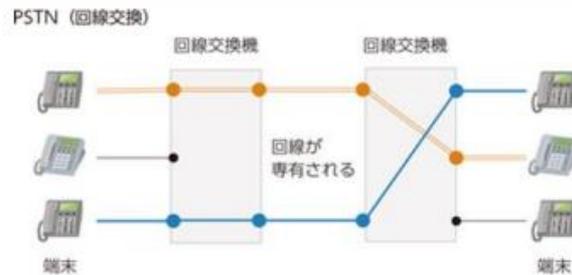
背景 物流データプラットフォームの必要性



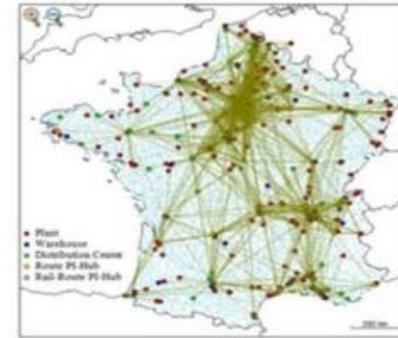
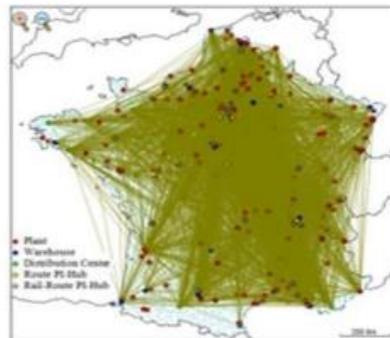
参考：フィジカルインターネット

- フィジカルインターネットとは、インターネット通信の考え方を、物流（フィジカル）に適用した新しい物流の仕組み。
- RFIDに代表されるIoTやAI技術を活用することで、物資や倉庫、車両の空き情報等が見える化し、規格化された容器に詰められた貨物を、複数企業の物流資産（倉庫、トラック等）をシェアしたネットワークで輸送するという共同輸配送システムの構想。
- 約130の企業・研究機関等が参画するALICE(欧州物流革新協力連盟)は、フィジカルインターネットを研究し、2050年のゼロエミッションを目指し、2030年を目標に実現を目指している。

デジタルインターネット
(インターネット通信)



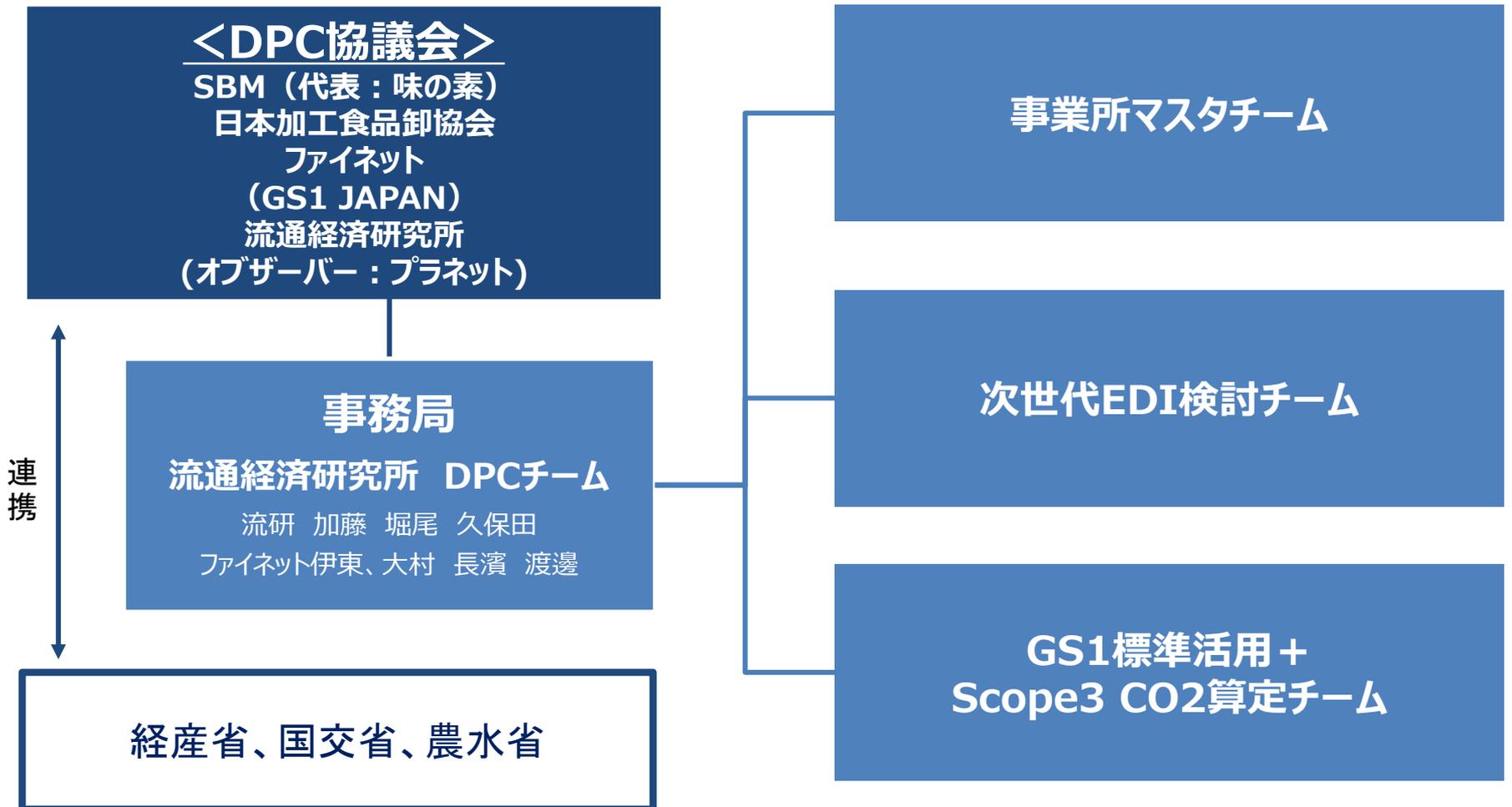
フィジカルインターネット
(物流)



DPC(Data Platform Construction)協議会 組織体制

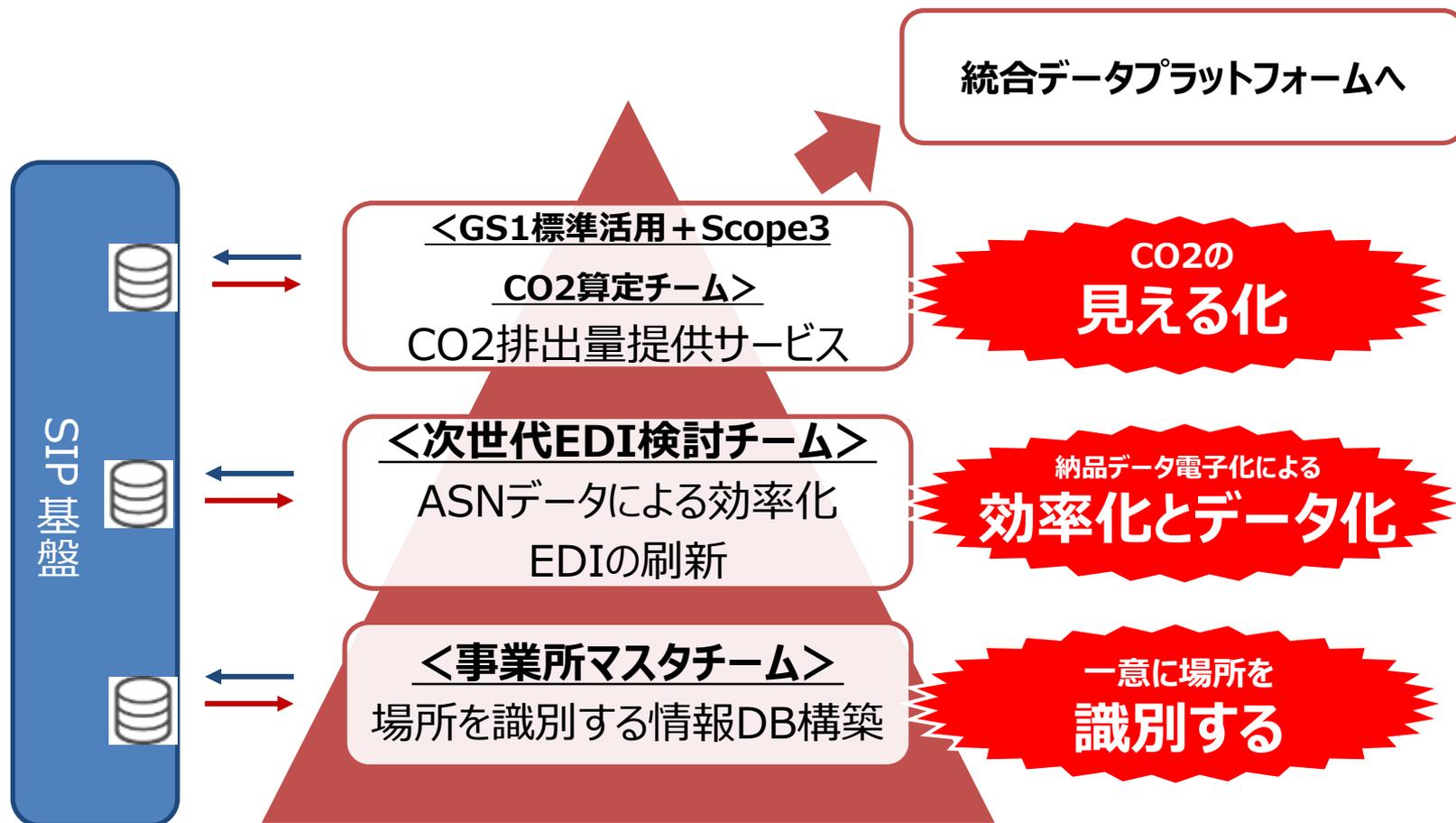
- 加工食品サプライチェーンにおけるデータプラットフォーム構築を目的として協議会を発足。
- 3つの検討チームを立ち上げ議論を進める。

<DPC協議会 組織体制>



DPC協議会 目指すべき方向性

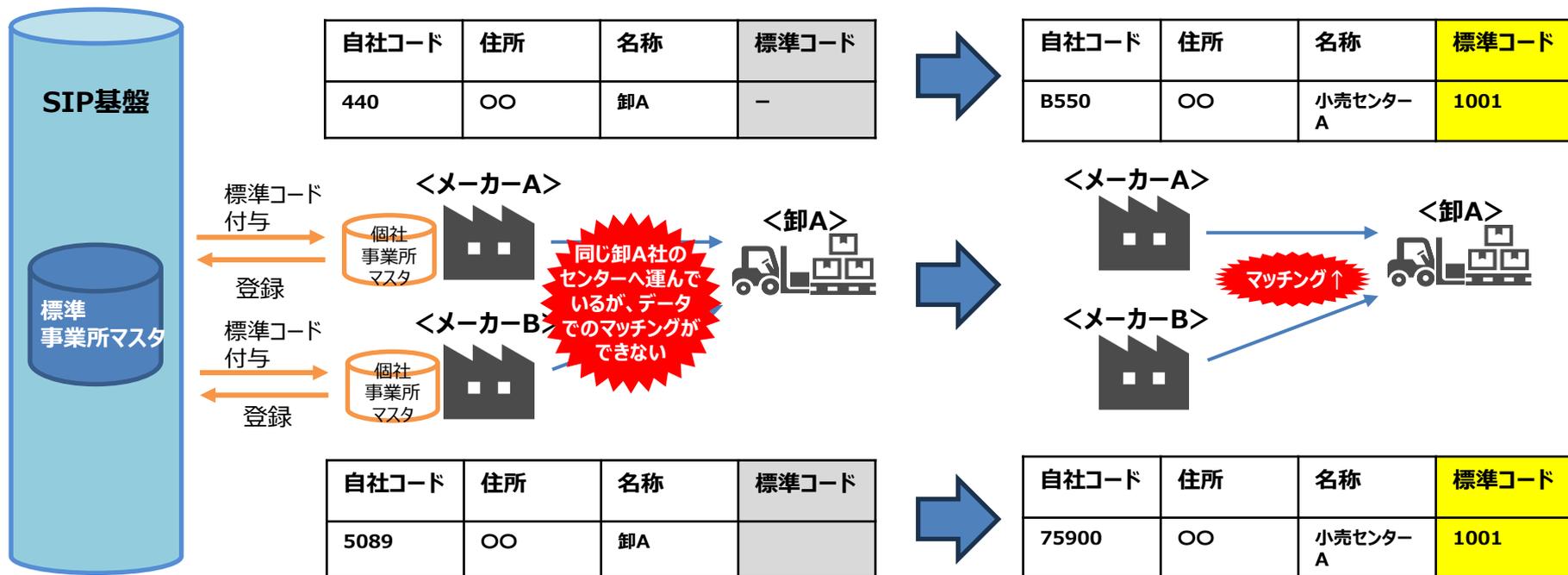
- 以下を行うことで、次世代EDI構築、およびデータプラットフォーム構築の足掛かりにする
 1. 統一取引先コードと標準事業所コードとの連携による標準事業所マスタ構築
 2. メーカー・卸間のEDIの刷新と納品情報のデジタル化
 3. 上記 1, 2 を活用したCO2排出量算出サービス等の新機能検討



<事業所マスタチーム>

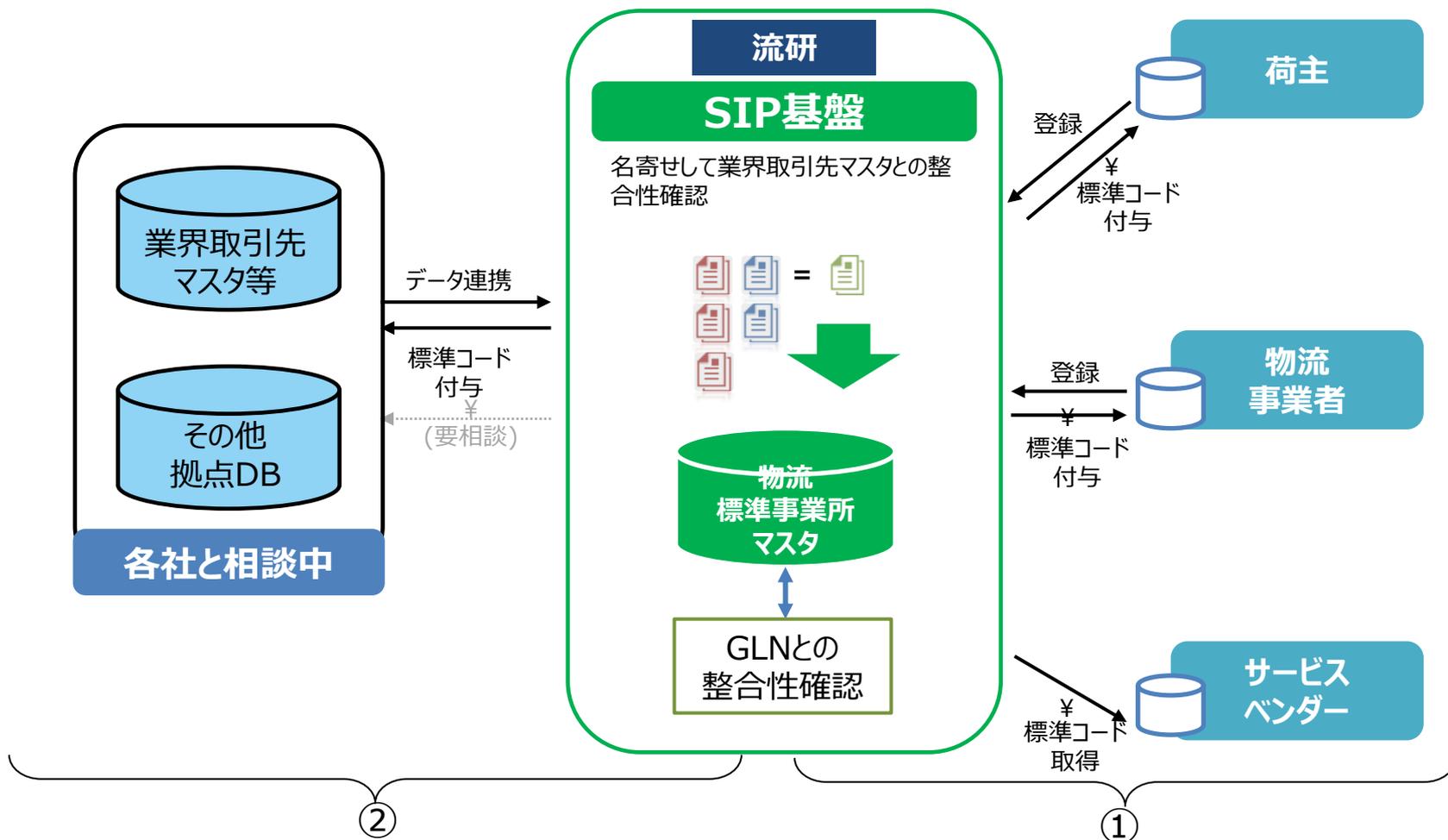
物流標準事業所マスタの意義

- 事業所の情報については、現在各社独自のコードで管理されており、データで一意的に識別することが困難であり、デジタル技術を活用した共同輸配送マッチングを行うことができない状況。
- 一方で、現在自社コード体系で運営されているものを、別のコード体系に置き換えることは困難を伴う。
- そのため、デジタル技術を活用した共同輸配送マッチングを行うためには、荷主、物流事業者が「場所を一意的に識別」でき、かつ各社のシステムやコード体系を変更することなく実現することが重要。
- SIP基盤を活用して、各プレイヤーが登録した拠点情報を基盤側で名寄せし、標準のコードを整備。各社のマスタとのコンバートテーブルを提供することで、荷主各社および物流事業者が同じコードで同じ拠点を一意的に識別することによって、共配等のマッチング向上を目指す。



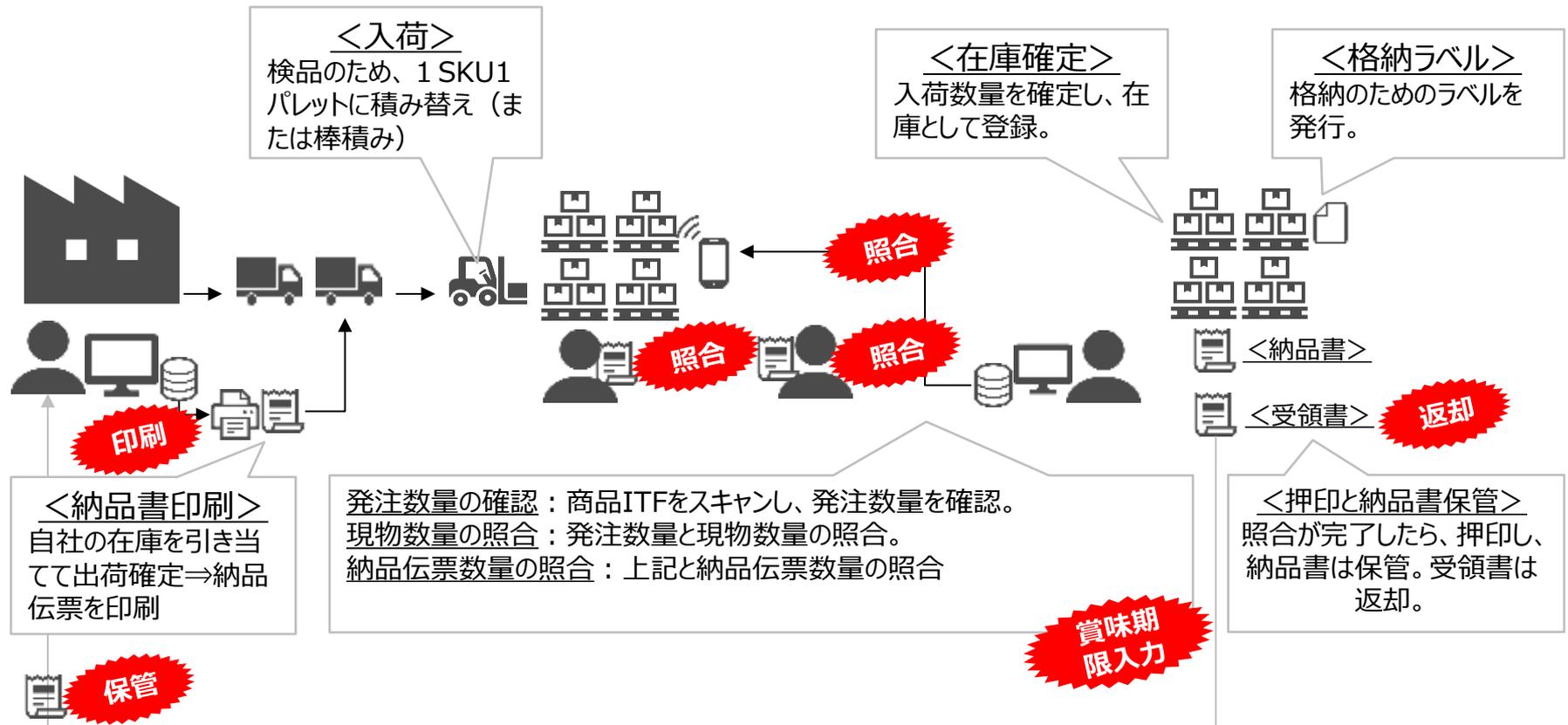
場所を一意に識別することのできる物流標準事業所マスタ構築へ

- ① ①利用者の自社拠点データをSIP基盤に登録することで、該当する物流標準コードを付与することを想定。
- ② ②正確性、網羅度ともに業界標準となっている業界取引先マスタや他業界における拠点データ等と連携を検討し、SIP基盤を活用し名寄せ。物流標準事業所マスタのベースを構築。



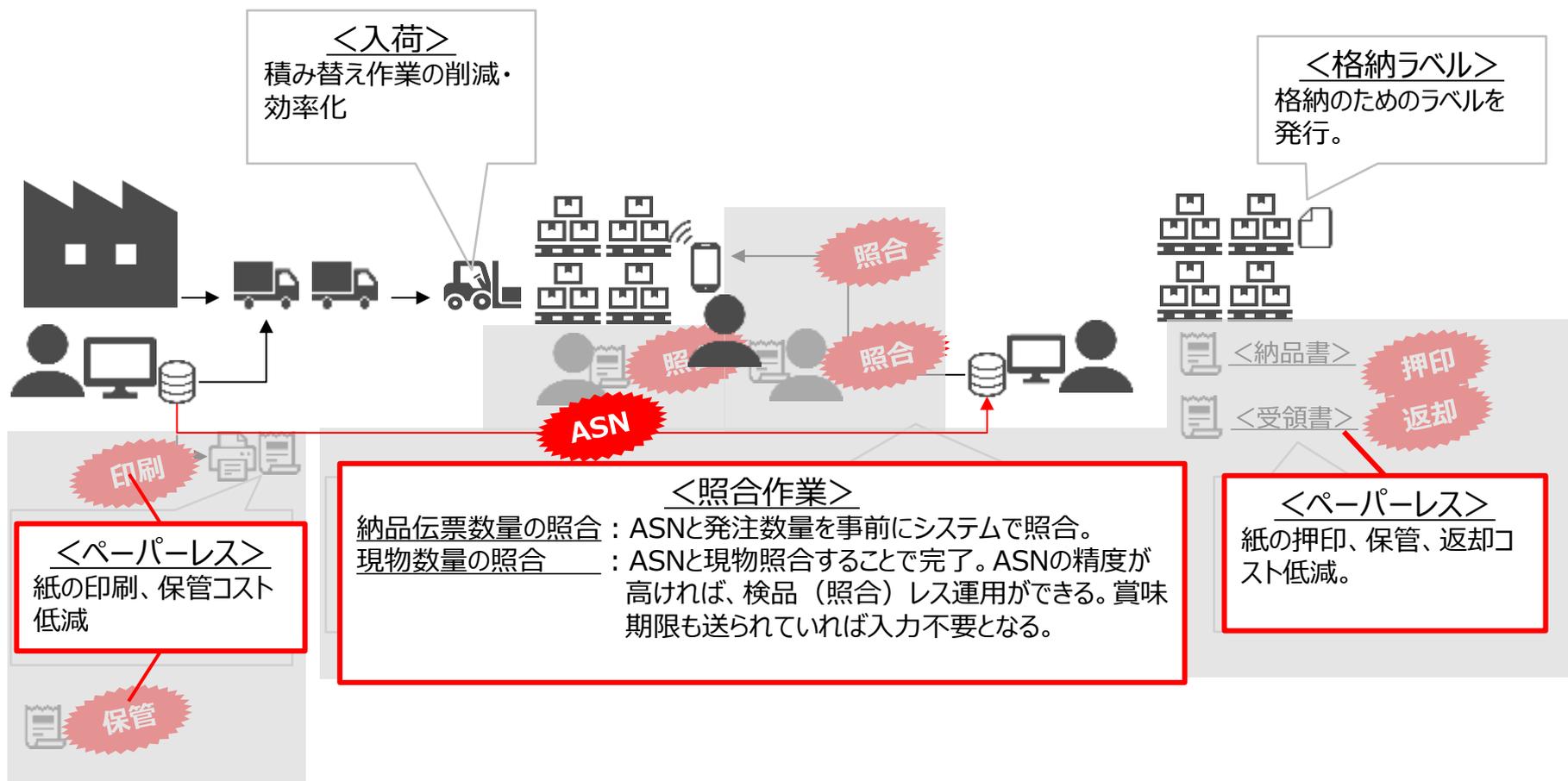
<次世代EDI検討チーム> 現行の入荷作業整理

- ✓ 実際に現物が入荷されるまで、何がどの程度入荷されるかわからないため、入荷業務は、「発注数量」「現物数量」「納品伝票数量」の照合を行い、賞味期限を入力。
- ✓ 伝票を通じて業務を行っているため、印刷、持参、紙での照合、押印、保管、返却などのプロセスが発生している。



入荷業務 伝票レス・ASN活用後

- ✓ 発注情報・納品伝票を使わず、ASNと現物を照合するので、伝票にまつわる印刷、照合、押印、保管コストの低減、および入荷現物との照合を効率化することができる。ASNの精度が高ければ、検品レスの運用ができる。



■ ASNメッセージのレベル感

より多くのプレイヤーに参加いただくために、ASNのデータレベルに参加しやすいレベルからはじめ、順次レベルを上げていくことを想定し、現在ASNデータのレベルを整理中。

■ ASN運用ルール

合わせて、ASNデータをどのタイミングで送信するのか、発注と納品の齟齬が出た際にどのような連絡体制を組むのか、またデータとしてどのように反映させるのか等、ASNデータの運用ルールを構築中。

■ 伝票レスに向けたメッセージ項目の見直し

ASNデータだけではなく、取引全体におけるペーパーレスによる効率化に向けて、現在のメーカー・卸間における標準メッセージでは足りない項目や新規のメッセージの構築等、検討中。